一般社団法人 奈良県中南和建設業協会

奈良県中南和建設業協会（山邉敏治会長）は2月28日午後、奈良労働局葛城労働基準監督署と奈良県県土マネジメント部高田土木事務所との連携及び協力のもと、管内作業所の安全衛生パトロールを実施した。多くの工事が年度末の竣工に向け最盛期を迎えている中で、事故や災害につながる要因を早期に確認し、これを除去し改善を促す事で、協会員全ての現場の安全対策と職場環境の向上により、安全施工を目指すのが目的である。

安全対策を入念に確認した

事故を未然に防ぐ環境作り

安全第一の意識共有

出発前の記念撮影

現場パトロールには、葛城労働基準監督署から安全衛生課の樋之口大成監督官、高田土木事務所から奥田幸司所長、片岡由男主幹、小山正人計画調整課長、中川和俊工務課長が、協会からは山邉敏治会長、岡田聡副会長ら総勢23名が参加した。

パトロール出発前に山邉会長は「安全パトロールは、多数の工事が年度末に工期を迎える中で、安全意識の更なる向上を目的として会を行った。

冒頭に奥田所長は、コロナ禍により3年振りとなった開催に感謝の意を表し「パトロールは、事故等を未然に防ぐ事を目的とし、安全で快適な職場づくりを進めるうえで不可欠。安全に対する意識を共有する良い機会でもある。講評で活発な意見交換を行い安全に対する更なる意識向上に繋げて欲しい」と挨拶した。

山邉会長

―講評―

参加者からは「山間部で険しい現場、駐車されている車はすべて輪留めされていた」「整理整頓が行き届き安全意識の高い現場だと感じた。ただ照明が少ないので夕暮れ時や残業となった時に怪我をしないかと気になった」などの意見が述べられた。

片岡主幹は「現場には鉄板をまんべんなく敷かれてあり安心できるが、所々で鉄板に段差があった。その辺りを整備すれば躓く事もないと思う」。

樋之口監督官からは「整理整頓が行き届いた現場。特に良いと感じたのは有資格者が多い事」と講評。また、「監督官になり最初に教えられたことは、法に捉われず、自分の目で判断しなさいと言う事。働く人の環境等を見て危険性を判断し、法的にはどうなのか等を確認する事」を基本としていると述べ、「作業者自身が乗っている足場の部品を取り外して転落した件や作業を終えて着替えた後に、少しだけと作業場に立ち入り亡くなられた方もいる」などの事例を紹介し「労働者の不安全行動に対し、その場で明確に指導できる人が多ければ労働災害も抑止できる。どんな事故も一番の原因は油断や気のゆるみと言われる。その事を互いに確認し合いながら作業をして欲しい」とそれぞれが講評した。

講評後に意見交換と質疑応答を行い、活発な意見が飛び交った。

最後に岡田副会長が「会員個々の安全衛生に対する更なる意識の向上を図りたい」と述べ、安全衛生への対策を互いに確認し合う有意義なパトロールとなった。

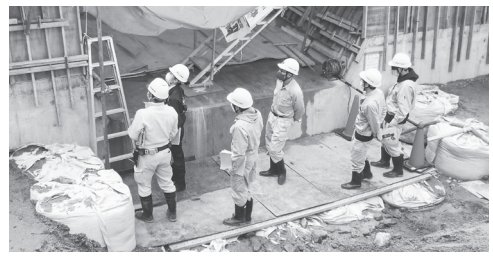
岡田副会長

奥田所長

樋之口監督官

片岡主幹

パトロール後の講評会では活発な意見が飛び交った



私たちは地域社会の発展に努めます

会長　山邉敏治
副会長　岡田聡
〃　吉井久尚
会計担当理事　杉本幸一
理事　石田勝昭
〃　森村ハルヱ
〃　磯部利充
〃　辻川誠彦
〃　髙田浩一
〃　上村智津子
〃　百々健士
〃　安田一幸
〃　福寿清和
〃　市山慎一
〃　春山知昭
監事　米田安晴
〃　鞍本信夫
〃　笹井良浩

一般社団法人 奈良県中南和建設業協会
事務局　大和高田市栄町三―一五
〒六三五―〇〇六四　TEL〇七四五―二二―八三三八
FAX〇七四五―五二―四五〇一